

<2014 年 4 月熊本地震の前兆との比較>

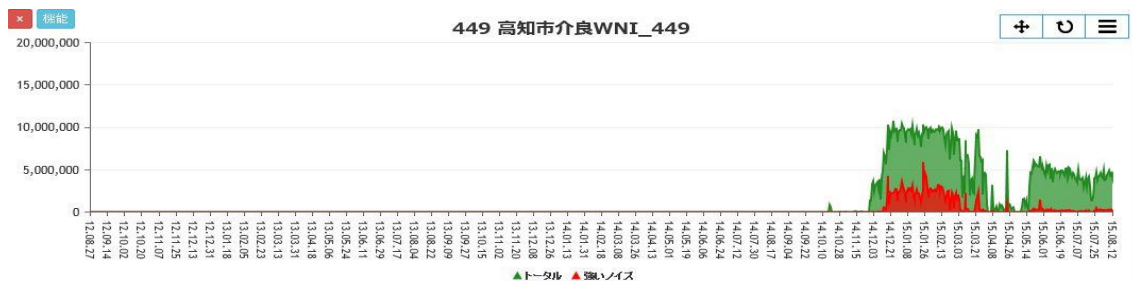
2014 年 11 月から 2016 年 4 月までの高知市介良の 3 年間（1080 日）データ、及び 2016 年 4 月に熊本地震が発生しました。

その熊本地震の発生後、データは、再度上昇してきて長期、大型データとなって 2020 年 7 月まで続いてきて、そこで 1 段、一気に減衰して、もう 1 度小さい山を約 1 年間かけて 2021 年 5 月までに作ります。そして 2021 年 5 月に 2 段目の減衰をし、本日 6 月 21 日にはほぼ収束状況になっています。

<<2016 年 4 月熊本地震の場合>>

2014 年 11 月から高知市介良に大きなデータが出現し、2016 年 2 月に、段差的に一気に減衰して 2016 年 4 月に熊本地震発生。大きなデータが出てから約 1 年半つづきました。

<高知市介良 2014 年 11 月から>



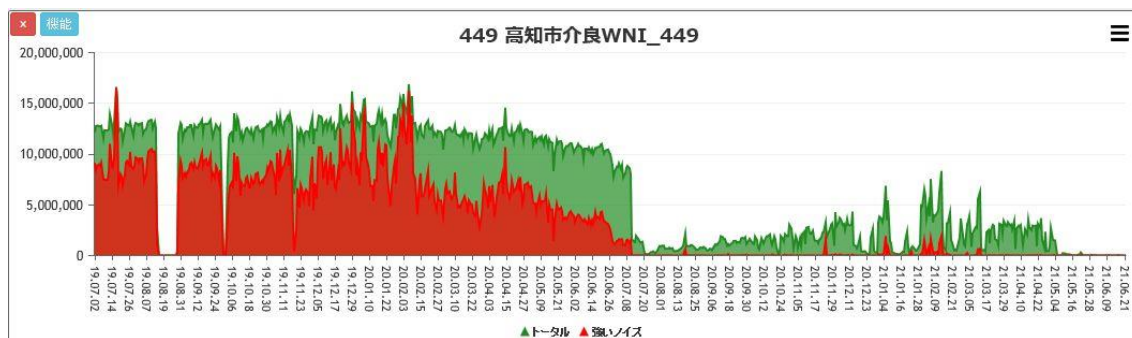
<高知市介良 2016 年 4 月に熊本地震まで その後、上昇していく。>



<<現在 2021 年 6 月 21 日まで>>

2016 年 4 月から（2020 年 7 月第一段階の減衰を経て）2021 年 5 月に高知市介良に第二段階の減衰があり、約 5 年間続いて 6 月 21 日現在ではほぼ完全な収束になっています。

高知市介良 2021 年 6 月 21 日までの 720 日間（日毎）データ



<<発震のタイミングについて>>

2016年4月 熊本地震の場合は 段階的な減衰のあと、山を作りながら途中で大きな、真っ赤な1本立ちが何本か出て、発震しています。今回の高知市介良のデータも その時のデータと良く似ています。

<2016年4月 熊本地震の場合の高知市介良のデータ>

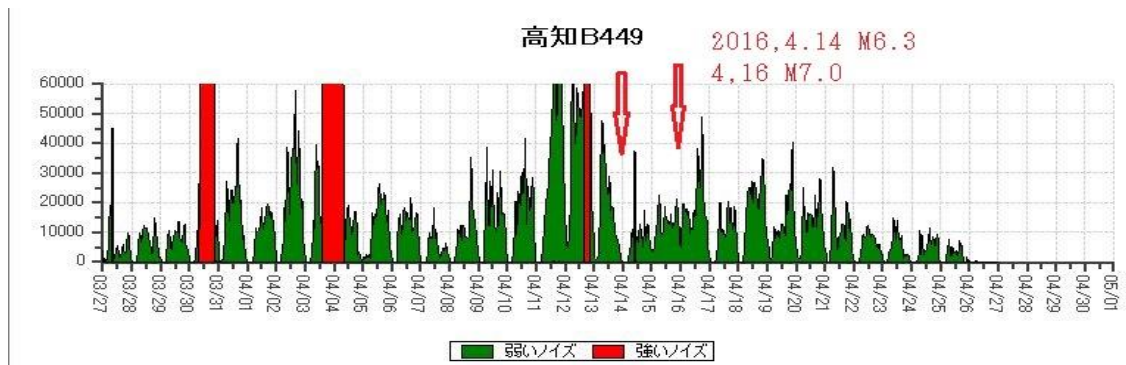


<現在 (2021年6月21日) の場合の高知市介良のデータ>

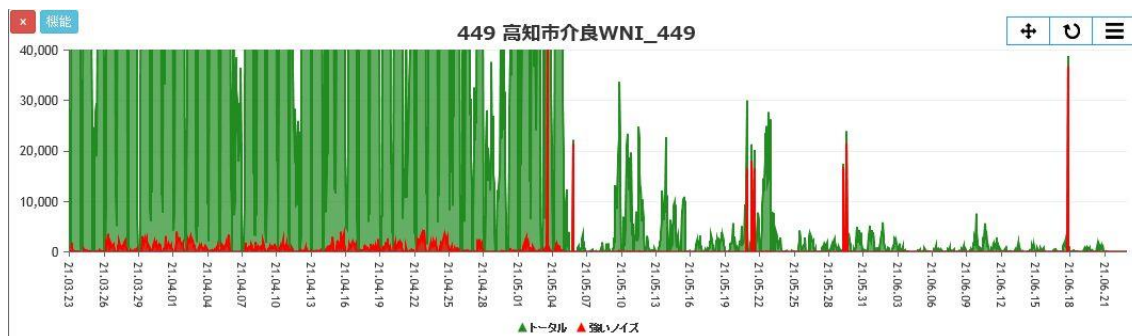
2016年4月熊本地震 90日間データ



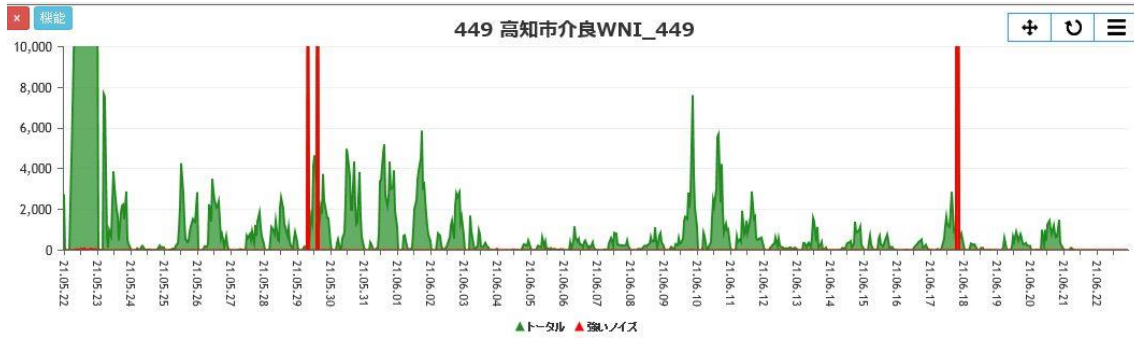
<2016年4月熊本地震 30日間データ>



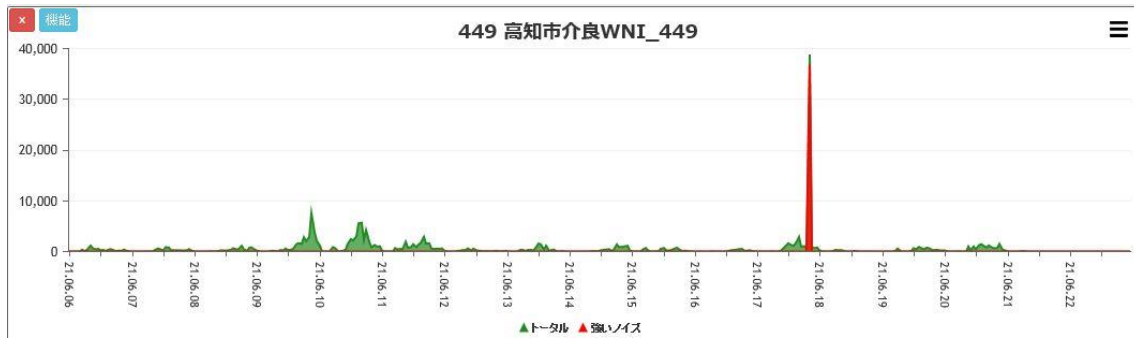
<2021年6月21日 高知市介良90日間データ>



<6月21日 高知市介良 30日間データ>



<6月21日 高知市介良 15日間データ>



考察>

以上のように、高知市介良の長期、大型データは 2016年4月の熊本地震の前兆としてのデータにとっても良く似ています。ただし今回は広島や九州の各地に同期したデータが見られないことから、震源は東よりの関西地区と考えます。また地震の規模は熊本地震のM7.0よりも1段大きくなる可能性があります。

あとは実際の発震のタイミングを待つこととなりますが十分な警戒をしながら、もうしばらくデータの推移を見たいと思います。